

工場生産丸ごと請け負

平山HD

電子機器業界などに人材を派遣している平山ホールディングス（HD）は、工場全体の生産を一括して請け負うサービスを始める。熟練技術者を現場に送り込み、生産全体の管理を預かり、ライン設計、製造設備などを改善する。国内の製造現場ではベテラン技術者が退職し、スキル不足が課題となる。業務改善やコスト削減に踏み込みサービスを提供し顧客獲得につなげる。

生産改善に向けた主な取り組み

- ①生産工程のレイアウト変更
- ②無駄な運搬や作業者の動きをチェック
- ③生産工程の「見える化」
- ④部品棚の位置変更

平山は電子機器、医療機器や医薬品などの工場に技術者を派遣している。部品などを組み立てる人材派遣にとどまらず、新サービスは工場単位、生産ライン全体にわたって管理を引き受ける。品質レベルや納期が厳しい電子機器製造で培ったノウハウを生かし、熟練技術者が指示する体制を整える。

ライン設計から治具改良まで

熟練技術者不足に対応

製造プロセス全体を改善しコスト競争力を高める



例えば、製造プロセスを改善するため、工場内の生産ラインのレイアウト、人員配置などを見直す。生産設備、治具なども業務効率が上がるよう改良する。電機、自動車

業界などで豊富な経験を持つ技術者を送って課題を洗い出す。派遣先の品目、受注、調達状況、稼働率を見極めた改善活動に取り組み。

用いた事例では、人員を減らし1日当たりの生産能力を2割近く引き上げ、工場全体で年間、数千円のコストを削減できたという。高い技術を求められる医療、自動車、住宅、建設分野など幅広く派遣先を広げる。

製造現場ではベテラン技術者の退職に加えて、海外人材の活用も加速し、派遣を含め従業員の経験や技能不足が課題になっている。海外拠点と比較したコスト競争力に目を向けられ、技術の底上げも難しくなっている。急激な需要変動に対応しながら、一定の品質水準を保つためにも、工場や生産ライン全体の管理を求めるニーズが高い。

（指宿伸一郎）

平山ホールディングスは2018年6月期の売上高が前期比17%増の約135億円、営業利益は約2億円と5倍超となった。